

受付番号

倫理第 1274 号

研究課題名

肝癌局所凝固療法後の治療部位再発症例の解析

研究期間

2016 年 11 月 15 日から 2019 年 3 月 31 日まで

研究の目的・方法

肝癌に対する局所凝固療法はおもに小型肝癌にたいする根治的な治療として広く行われてい
ます。治療部位再発は予後を規定する重要な再発形式であり、中でも肝内播腫性再発は低分化腫瘍
の割合が高く、門脈腫瘍栓を有するため極めて予後不良とされています。本研究は、局所凝固療
法後の肝内播種症例の臨床病理学的特徴と予後の解析を行うことを目的とします。局所凝固療法
後の治療部位再発に対し肝切除を施行した症例を対象とし、臨床病理学的データを後ろ向きに集
積します。

研究の対象となる方

2002 年 1 月から 2012 年 12 月までに局所凝固療法後に再発し肝切除を受けられた肝癌患者様。(約
50 例程度が対象になる見込みです)

研究に利用する試料・情報

- ・ 術前データ (年齢・性別・腫瘍径・腫瘍個数・腫瘍占拠部位・腫瘍マーカーを含む採血データなど)
- ・ 治療データ (肝切除の術式・補助療法の内容など)
- ・ 周術期データ (手術時間・出血量・腫瘍肉眼型など)
- ・ 術後データ (病理組織学的診断・再発日・再発形式・全生存期間・無再発生存期間・転帰など)

研究機関の名称並びに研究機関の長及び研究責任者の氏名

研究機関の名称：熊本大学大学院生命科学研究部

研究機関の長：西村 泰治

研究責任者：馬場 秀夫 消化器外科学 教授

研究に関する資料の入手・閲覧について

ご要望があれば、患者様とご家族が読まれる場合に限り、他の患者様の個人情報及び知的財産の保
護等に支障がない範囲内において、この研究の計画書をご覧いただけます。下記担当者までご連絡く
ださい。

個人情報の取り扱いについて

1. 個人情報は研究のために特定した目的、項目に限り適正に取得、利用します。
2. 取得した情報を用いて解析した研究の結果は、論文や学会発表として公表されますが、公表される
情報には個人を特定し得る情報は含まれませんのでご安心ください。
3. 取得した情報は万全な安全管理対策を講じ、適切に保護し慎重に取り扱います。
4. 個人が特定できる情報が熊本大学から外部に出ることはありません。
5. 本研究で取得し管理している情報に関して、開示、訂正、削除、あるいは第三者への開示、提供の
停止を希望される方は、担当医師までご相談ください。
6. 一般的な質問や苦情がある方は、下記の対応窓口までご連絡ください。

利益相反について

本研究の公正さに影響を及ぼすような利害関係はありません。本研究における利益相反に関する状況は、熊本大学大学院生命科学研究部等臨床研究利益相反審査委員会の審査を経て、熊本大学大学院生命科学研究部長へ報告しています。

お断りのお申し出について

この研究に、ご自分のデータを使用してほしくないと思われる場合は、その旨下記の対応窓口までお申し出ください。それまでに収集されたデータを一切使わないようにすることができます。その場合でも、通常の診療などで不利益を受けることは全くありません。上記の調査期間中であれば、いつでもお断りいただけます。

お問合せ・ご相談への対応窓口

熊本大学生命科学研究部 消化器外科学

担当者：今井克憲、中川茂樹、甲斐田剛圭

－連絡先－

熊本大学医学部附属病院 消化器外科

〒860-8556 熊本県熊本市中央区本荘 1-1-1

電話 096-373-5540/096-373-5544 消化器外科外来（EFブロック）